

10/22

融資、担保より将来性で

金融庁方針 銀行の審査、調査へ

金融庁は21日、今後の重点施策を示す「金融行政方針」を発表した。不良債権の処理を最重要視してきたこれまでの姿勢を転換し、銀行に企業の将来性をみて貸し出しを増やすよう促す考えを明確にした。「顧客本位」を掲げて担保に頼らない融資の拡大を求める森信親長官の改革には、金融界から反発も出ている。

金融庁は今後1年間の監督などの方向性を金融行政方針として発表している。今回の柱は①金融

融資の審査態勢について聞き取り調査する方針も盛り込んだ。菅義偉官房長官は21日の記者会見で「銀行に対して（担保がなければ貸さないという）批判は今まで何回も聞き取り調査する方針も盛り込んだ。菅義偉官房長官は21日の記者会見で「銀行に対して（担保がなければ貸さないとい

う）批判は今まで何回も聞き取り調査する方針も盛り込んだ。菅義偉官房長官は21日の記者会見で「銀行に対して（担保がなければ貸さないとい

う）批判は今まで何回も聞き取り調査する方針も盛り込んだ。菅義偉官房長官は21日の記者会見で「銀行に対して（担保がなければ貸さないとい

う）批判は今まで何回も聞き取り調査する方針も盛り込んだ。菅義偉官房長官は21日の記者会見で「銀行に対して（担保がなければ貸さないとい

う）批判は今まで何回も聞き取り調査する方針も盛り込んだ。菅義偉官房長官は21日の記者会見で「銀行に対して（担保がなければ貸さないとい

金融行政方針の主な内容

金融庁自身の改革

- ・検査・監督手法の見直し。金融機関の創意工夫を尊重
- ・金融機関の優れた取り組みを表彰。「見える化」推進

安定的な資産形成の実現

- ・金融商品の販売手数料の開示を促進
- ・分かりやすい商品説明

金融機関のビジネスモデルの転換

- ・担保・保証に依存しない融資の促進
- ・地元貢献度など測る55項目の新指標を導入
- ・海外融資の管理や安定的な外貨調達に向けた対話

IT（情報技術）対応

- ・フィンテック企業の成長を促す制度整備
- ・サイバー攻撃への対応力強化

今回の金融庁の方針には、貯蓄から投資への流れを後押しすることだ。

金融機関に「顧客本位の業務運営」の徹底を要求。投資商品の販売で金融機関が受け取る手数料を開示したり、分かりやすい商品説明を求めたりしている。年金基金などの運用機関にも最終的なお金の出し手の利益を最優先するよう促した。

今回の金融庁の方針には、貯蓄から投資への流れを後押しすることだ。金融機関に「顧客本位の業務運営」の徹底を要求。投資商品の販売で金融機関が受け取る手数料を開示したり、分かりやすい商品説明を求めたりしている。年金基金などの運用機関にも最終的なお金の出し手の利益を最優先するよう促した。

今回の金融庁の方針には、貯蓄から投資への流れを後押しすることだ。金融機関に「顧客本位の業務運営」の徹底を要求。投資商品の販売で金融機関が受け取る手数料を開示したり、分かりやすい商品説明を求めたりしている。年金基金などの運用機関にも最終的なお金の出し手の利益を最優先するよう促した。